

歴史と「クリエイティブ」の共鳴

橋本みずき（明智町出身）

「みなさんは大河ドラマを見たことがありますか？」

東京・自由が丘の小さな店「マルディグラ」にひしめく人々の視線を一身に浴びながら、私は客席に問いを投げかけた。会場は男女10〜60代と実に幅広い層の人たちが詰めかけていたが、7〜8割の人が手を挙げた様子に驚くとともに、改めて自分が関わらせていただいているプロジェクトの世間への影響力の大きさに身震いを感じた。

来年の大河ドラマは『龍馬伝』。8/26に若手県・遠野でクランクイ

ンを迎え、私がAE[※]として担当している、主演・福山雅治さん扮する「坂本龍馬」をメインビジュアルとしたポスターが初お目見えをし、Yahoo!を始めウェブや新聞でニュースとして取り上げられた。

龍馬といえば、幕末の日本を舞台に志士として活躍した国民的人気を誇る人物。昨今、アメリカの金融危機に端を発し、100年に一度と言われる大不況が襲いかかる中、「もし歴史上の人物が現代にいたら」との問いに、多くの人が真っ先に『坂本龍馬』の名を挙げると言われている。『龍馬伝』はまさに今の「人々の意識」にマッチした人選・テーマ選びであると言えるのかもしれない。さて、今回龍馬を演じる福山さん、普段は華やかな部分にはかり目が行きがちですが、音楽や演技を通じて、地域振興などいわゆる「地元への恩返し」を積極的に行われています。たとえば、6万超の署名を受けて8/29・30の2日間に長崎・稲佐山で『音返し』と題して行われた公演は話題を呼んだばかりではなく、地元長崎や周辺地域の活性化にも大きな影

響を与えたと言われています。

また、「出演者」である福山さんに加え、龍馬伝では強力な「制作スタッフ」として、映画化もされた土曜ドラマの名作「ハゲタカ」の演出・監督大友啓史氏が演出を、そして先日発表になったポスタービジュアル作りは、映画「ホノカアボーイ」の脚本・プロデューサーや数々のヒットCM制作で知られる高崎卓馬氏が手がけるなど、「クリエイティブの名士」が名を連ねる。

彼らを始めとして「ものを生み出す、ものを創っていく」人たちの間に交わされる会話には体温があり、ドラマ本編だけではなく、1カットのビジュアル、1つの小さな制作物にも「想い」が吹き込まれて、創り上げられていく。「ものを創る」とはこういうことなのだ、と、私自身小さなステージに立ち音と言葉を届ける者の一人として、とても大きな刺激を受ける貴重な機会を与えられていることを実感した。

では、福山さんが20周年を機に「恩（音）返し」をされるように、私も今置かれた環境から「故郷に関わる何か」ができないだろうか。

母校・多治見北高校のある多治見市では来年8月、市政70周年を迎える。また、故郷である恵那郡（市）明智町の「大正村」では2011年、「大正100周年」に向けて何か話題



作りができないか、とそれぞれ試行錯誤をしている。そのような話を受けいろいろ調べてみると、坂本龍馬は清和源氏の一支族美濃源氏土岐氏の庶家、明智左馬助秀満の末裔、つまり明智光秀の子孫だという説があったり、中津川市には、高知県の佐川龍馬神社からの御分神霊を迎えた、日本で2か所だけ龍馬を祀っている、とされる「龍馬神社」があったり、岐阜県にも坂本龍馬にゆかりのある要素が存在することを知る。

たとえば、こうして仕入れた知識を紹介することで、この文を読まれた方々に興味を持っていただくことから始まり、龍馬伝をフックにして何かしら岐阜の振興につながるプロジェクトが考えられないかと構想を練っている。

こうして「龍馬伝」とのつながりが、地域や人と人との新たなつながりになり、広がっていくことで、少しでもこの時代に変革をもたらす「エ

※AE＝アカウントエグゼクティブ。担当営業のことを指す。

投稿募集

この頁は「会員の頁」と称して、会員の皆様の投稿を掲載していきます。是非皆さんの声をお寄せください。

投稿には氏名・連絡先・出身地・出身高校をそえて官製はがきでお送りいただくか、同様の内容を原稿用紙に記入いただき封書でお送りください。インターネットをお使いの方は、Eメールでお送りいただくと助かります。

是非、微笑ましい写真なども添えてご投稿ください。

尚、原稿料は御支払できませんので予めご了承ください。

連絡及び問合せ先

東京岐阜県人会事務局

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館14F

TEL. 03-5212-9020

FAX. 03-5210-6871

Email: info@apgifu.net

不況、生活苦から経済の立て直しが叫ばれる中、それに対する「具体策」への注目ばかりが集まっていますが、そんな中でも「創り」「表現」「共鳴する」といった言葉と音とビジュアルの創造・表現が変わらずどこで行われ続けていること、たとえばアメリカの過酷な歴史がブラックミュージックを生み、幕末の混乱から坂本龍馬が数々の「名言」を生

「センス」となるといいな、と思っています。「龍馬伝」そのものも含め、「想いの投げかけ」を行うこと一つ一つには魂があります。人々はそれを見る・聞く・足を運ぶことで、その語られる「何か」を受け止め、共鳴する。そして化学反応が起こり、新たな想いを見出す、あるいは忘れていた何かに気づく。そこに心の震えがある。



橋本 みずき

シンガーソングライター。3歳からピアノを弾き、さらにギター・ギタレレなどで作詞作曲をした自身オリジナル曲の歌・演奏を中心にステージに立つ。ロサンゼルスでのレコーディングや、海外約9カ国のミュージカルツアー、2005年愛知万博（愛・地球博）でのステージなど幅広い経験を持つ。

www.mizukihashimoto.com
keytail@cat.email.ne.jp

み出したように、そして、戦後復興の中、数々の「メディア」が生まれ、美空ひばりの歌が響き渡り、広告が単なる「宣伝」ではなく一つの「表現・アート」として世の中に伝播していったように、いつの時代も私たちは創り、表現し、そして共鳴していくことによって、「歴史の道」を紡いでいくのだと思います。

Create new Value

創造の世紀へ、お客様とともに

株式会社 電算システム

<http://www.densan-s.co.jp>

《東証二部・名証二部上場》